
覆面小説家の集いPART2

神村律子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

覆面小説家の集い PART 2

【Zコード】

N8319I

【作者名】

神村律子

【あらすじ】

私は小泉太郎。「とてつもない郵政民営化」という推理小説の作者だ。

私は小泉太郎。

先日、覆面小説家の集いで、すっかり騙されて腰を抜かした小心者だ。

今度は、あの時のメンバーで小説を書き、作者を当てるゲームを開催するという通知が届いた。

開催場所はあの因縁のホテル。何か嫌な予感がする。

但し、今度はドッキリはないという。本当か？

しかし、また覆面で集まるのだそうだ。やはり怪しい。

期限は一ヶ月。短過ぎる。

遅筆の私には荷が重かったが、文字数の最低限はないそうなので、何とかなりそうだ。

但し、印刷するのではなく、CD・RWのディスクに落として持参する事になつている。

紙や印字で特定させないために、委員会で規格を統一するのだそうだ。

私はなるほどと思いながらも、面倒臭いとも思った。

そして本番当日。

また参加者は、黒い頭巾を被り、ホテルの会場に集まつた。
あ。あの太つた人は、確か神林光子とかいう作家だつたな。
む？ 名前違つてるか？

それにしても、前回より更にパワーアップしているぞ。

どんな食生活を送ると、あんな酒樽のような体型になるんだ？

しかも身長が低いから、^{いびつ}歪な酒樽だ。

いかん、私が見ているのがばれた。彼女が近づいて来る。

「今晩は」

「今晩は」

私は頭巾で見えないのに愛想笑いをして応えた。

「実行委員会の者です。執筆された小説をお渡し下さい」

「はい」

私は携えていたアタッシュケースからCD・RWのケースを取り出し、彼女に渡した。

「ありがとうございます」

彼女は次々にそれぞれの作家が書いた小説の原稿のデータを集め
て回った。

「それでは、皆さんにお渡しする原稿を印刷して参ります。それま
で、お食事をお楽しみ下さい」

酒樽が言った。彼女は他の委員と共に会場を出て行つた。

私はおいしい料理を食べ、ワインを飲み、楽しんだ。

やがて食事は終了し、ホテルの従業員達がテーブルを片付け始め
た。

おや、と思つた。

「ねえ、君、何故テーブルを片付けるのかね？ 集いはこれからが
本番だよ」

私が一人の従業員を呼び止めて言った。するとその従業員は、

「私共は、お食事会とお聞きしております。主催者様はもうお帰り
になりましたよ」

「ええ！？」

私は度肝を抜かれた。どういふ事だ？

近くでその話を聞いていた他のメンバーが、

「騙されたんや！ あいつら、最初から騙すつもりやつたんや！」

と叫んだので、場内は騒然とした。

「もしかして、この食事代も、ウチらに請求が来るんじやりますか？」

「そんなバカな。俺は払わんぞ、そんな金！」

大騒ぎになつた。

しかし、食事の代金は全て前払いされており、その心配は不要だつた。

「何だつたんだ、一体？」

私は疑問を拭いきれないまま、ホテルを出た。

答えはそれから一ヶ月あまりたつた頃に判明した。

「神村律子作 特捜刑事 相方」

そんなタイトルの推理小説が、ある投稿サイトに載つていた。

これは杉下左京氏の作品のタイトルと全く同じだ。

「パクるためか？」

私はまた騙されたのだ。そして、自分の作品が投稿されていないか、探した。

なかつた。他の作家のパクリ小説はいくつか見つかったのに。

何となく寂しかつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8319i/>

覆面小説家の集いPART2

2011年1月7日17時43分発行